



久松

2021～2022年度

第3号
NO.510

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 336-B 7R-1Z
TOTTORI KYUSHO LIONS CLUB

リジョンチェアパーソン退任挨拶



7R・RC L 山名 立洋

7R1Z・2Zの皆様へ

この1年間お世話になりありがとうございました。振り返って見ますと新型コロナの感染拡大を言い訳にして何も出来なかった1年だと思えます。ZCとの連絡会議を設けましたが、開催は1回に留まり中身の無いものとなりました。各クラブの皆さんもコロナ下で何が出来るのだろうと努力された1年だと思えます。RCとしてはリジョンでなければ出来ない活動を模索したのですが、

コロナ下では大人数を集める活動はリスクを高めるため断念せざるを得ませんでした。

新年度からはRCという役職が再びなくなり、ZCの一人にリーダーZCという役割を持たせて、RCの任務を引き継ぐことになります。コロナが収まったときには、すぐに活動出来るよう今からリジョン合同アクティビティの構想を構築いただきますようお願い申し上げます。

ゾーンチェアパーソン退任挨拶



7R-1Z・ZC L 広岩 勝彦

ゾーンチェアパーソンを就任して一年の任期を無事終えることができました。コロナ禍の中各クラブ、例会運営・アクティビティとご苦労されたことと思います。就任当初各クラブを訪問させていただいたときは温かく迎えていただき、ありがとうございました。各クラブとも独特の雰囲気があり和やかさにもそれぞれの特色を感じさせていただきました。

今期、このような状況の中合同アクティビティをどうすればと考えたとき各クラブの会報誌を1度「合同会報誌」にしてはと考え引き継ぎ会の時にお伝えし各クラブより賛同いただき年次「1月号」として各クラブの会長、幹事、年始挨拶、アクティビティの紹介をしていただきました。私自身他クラブのアクティビティを知る機会を得て楽しく読ませていただきました。MC 委員の皆様にはご苦労かけたことと思います。また出来れば「合同会報誌」が継続事業として行っていいただければと思います。

キャビネットに関しては各会議でおなじところでつまづき昨年の決算報告の杜撰さには驚くばかりでした。

今期の地区年次大会にまで引きずる結果になったのは残念に思います。新年度は西尾ガバナーの強いリーダーシップ・新役員の方々に期待しています。

最後に5月8日に行われた、いなばライオンズクラブ主催のアクティビティ「第9回森林浴ウォーキング大会」に初めて参加させていただきました。コロナ禍の中でも330名の一般の方の参加トレッキングコース・初心者コースと2コースを設定しそれぞれの人に合わせたウォーキング、途中周年合同事業の藤棚も見ごろを過ぎましたが青々と元気そうな姿を見ることができました。準備から実行・片付けと会員の皆様の熱い奉仕を感じました。また6月18日には砂丘ライオンズクラブ主催の【SDGs <ごみを拾って浜辺を活用> 砂であそぼう】が開催されます。沢山の方に参加していただきライオンズ活動を周知していただく、素晴らしいアクティビティ奉仕活動だと思います。感謝いたします。「WE SERVE」「われわれは奉仕する。」この一年、皆様に支えていただきありがとうございました。

会長退任あいさつ

会長 L 宮部 文雄



昨年7月に会長を拝命し、早一年が過ぎようとしています。

引継ぎ時から、例会等が開催出来ない状況でありましたがそのような中、開催ルールの見直しを提案し、会員の皆さんにご意見・ご協力をいただきながら、コロナの感染状況と会員それぞれの立場等考慮するなかで、悩みながらの一年でした。会員相互のコミュニケーションの基本となる通常例会が如何に大切なことであるか改めて感じているところです。

当クラブの例会及びアクティビティ等の出席率はあまり高くないと感じております。明るく楽しく参加したくなる例会にすることが、出席率の向上につながり、ひいてはアクティビティの参加率

の向上・新会員の獲得に繋がるのではないかと思います。

残念ながら今期の新会員の入会はありませんでしたが、今後40代を中心とした新会員を獲得し、世代交代を図る必要性を強く感じています。

来年度は、コロナが終息しコロナ発症以前と同様以上の活動が出来ることを、希望を込めて願うばかりです。上田会長のもと、会員皆さんの協力により、活動が充実することを祈念いたします。

皆さんのご協力に心から感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

幹事退任あいさつ

幹事 L 国森 洋



コロナ禍も3年目となり、県内でもコロナ警報基準の見直しがなされ、1月24日に発せられた特別警報も5月6日に全県解除となりました。全国でもようやく第6波が減少傾向に転じ、巷では屋外でのマスク着用の有無、業界別のガイドラインの有効性などの議論がはじまるなど、少しフェーズが変わってきました。

こうした中、2021年7月に我が鳥取久松ライオンズクラブの幹事を仰せつかり、宮部会長スローガン『つなぐ つながる 奉仕の笑顔』のもと微力ながら取り組んできました。

残念ながら大胆なアクティビティを行うことはできませんでしたが、コロナ禍の中での湖山

池公園東屋の改修、EM活性液の取り組み、ソフト面ではクラブHPの制作、さらには、懸案であったCN認証50周年記念事業も特別警報発令下でしたが実施できたことは本当にクラブメンバーの皆様のお陰ところから感謝を申し上げる次第です。

コロナ禍で例会の中止や本来ですと皆様と楽しく酒を酌み交わす懇親会もできず残念ですが、この一年、皆様にご協力いただき、無事に任務を全うできましたことに心から感謝を申し上げ退任のごあいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。

鳥取久松ライオンズクラブ認証50周年記念事業

認証50周年記念事業

- 特定非営利活動法人「鳥の劇場」に活動支援金1,000,000円贈呈
～コロナ禍における地域文化芸術支援事業～
◇2022年2月20日(日)
◇於 特定非営利活動法人「鳥の劇場」(鳥取市鹿野町)
- ライオンズクラブ国際財団(LCIF)へ\$1,000献金



記念事業を終えて

大会会長 L 松下 稔彦



未だ先の見えない新型コロナウイルス感染症により、2年にわたり検討を重ねてきた記念大会が中止となったことは残念でなりません。

ただその中で、記念事業として特定非営利活動法人「鳥の劇場」に支援金100万円の贈呈式が行えたことは大変有意義であったと思います。

2月20日当日は雪の降る寒い日でしたが、多くのメンバーの皆さんに集結していただき、代表の中島諒人様へ無事支援金を贈ることができました。皆様に心から感謝申し上げます。贈呈式の後、活動の報告をいただき、劇場内の視察などをさせていただきました。「鳥の劇場」の今後益々のご繁栄をお祈りします。

さらに、事業の計画から実施まで大変ご苦勞をお掛けした大会委員長、また、すばらしい記念誌を作成していただいた50周年記念誌委員会、そして、すべての皆さんに重ねて感謝申し上げます。

最後に鳥取久松ライオンズクラブが次の100年を目指し、成長し、地域社会における奉仕活動が益々充実していくことを祈念しながらご報告とさせていただきます。

記念事業を終えて

大会委員長 L 木谷 清人



認証50周年を迎え、2020-2021年度に各種事業を実施すべく準備を進めていました。しかし2020年に入りコロナ禍で全ての事業を1年延期することになりました。その間、記念事業を検討するなかで、文化芸術関連の事業が危機に瀕しているとの声が寄せられました。そこでテーマを「コロナ禍における地域文化芸術支援事業」とし、「特定非営利活動法人 鳥の劇場」の活動に100万円を贈呈することにしました。贈呈式・式典を同劇場で開催し記念上演も計画しましたが、残念ながら変異株の拡大で2022年2月20日贈呈式のみ実施となりました。

記念上演に替え「イワンのばか」にご招待頂きました。折しもロシアのウクライナ侵攻の最中です。「なぜ殺す、なぜ壊す、悪魔が仕掛ける戦争にイワンが問う」という重いテーマでしたが、ユーモアを交えながらの分かり易い演劇になっていました。ライオンズクラブが掲げるアワ・ネイションズ・セフィティーの意義を改めて考えさせられたことでした。





喜寿を迎えて

Ｌ 橋本 和憲



長寿の祝いとして日本には還暦、古希、喜寿、傘寿、卒寿、白寿などの言葉があり、人生の節目としてそれなりの意味があります。

喜寿の場合は、親しい人が集まってその方の長寿をお祝いする行事があるようです。77歳、今の平均年齢が男子で80歳くらいですので、頑張ってきた方だと思います。学校生活、結婚、就職と団塊の世代を生きてきた私たち、多くの同世代の方々は年金生活に入って思い思いの日常生活を送っている中で、健康に不安をお持ちの方、一人暮らしの方、家族に囲まれてお過ごしの方などの色々な人生があります。幸い私の場合は仕事、ライオンズ活動、趣味のゴルフなどを通じて多くの知人、友人、家族に恵まれて過ごしています。体調の不安も少しはありますが、できる限り働き多くの人との交流を深めながら常に前向きな目的を持って生きて行けたらと思っています。ご協力をお願いします。



喜寿… 老人と呼ばれたく ないなあ～

Ｌ 吉川 利雄



私は1945年大東亜戦争終戦の翌年(昭和21年)8月鳥取市栗谷で生まれています。

今は満年齢で75歳と10か月なのですが…。

幼年だった頃、家の近くではジープ(オープンカー)に4人乗った外国人の兵隊さん、市内をパトロール中?なのか頭にはキャップ(ライオンキャップと同じ形)を被った兵隊をよく見かけました。その後を走って追っ掛けると時々キャンディー?チョコレイト?を買ったことや、樗谿公園に行く道路右側には平屋で同じ形の家が幾棟か並んでいてそこでは外国人を時々見た記憶があります。

私事です。1952年(昭和27年)4月17日の鳥取大火では陽も落ちて暗くなってから父が全身真っ黒になって家に帰って来て着替えをして再度出て行きましたが、火元の永楽温泉に職場があったので…。

1970年5月大阪国際万国博関連の仕事で当時は毎日のように徹夜残業で頑張っていたのですが、通院していた大泉診療所に3週間胃潰瘍治療で2014年6月には鳥取市立病院で胃の切除で約2か月の入院。以前から多くの方々に援けていただきながら現在に至っています。

後期高齢者と言われ見通し真っ暗の老人ですが小さな灯りでも老眼の援けを借りながらお迎えのある日まで生きてみようと思っています。宜しくお願いいたします。お祝いありがとうございました。



古希を迎えて

Ｌ 羽場 恭一



鳥取大火から一年後の昭和28年(1953)玄好町で生まれました。当時は産婆さんに取り上げてもらうのが普通で6つ上の姉は友達と遊んでいて、いまでも産まれたときのこと覚えて話してくれます。ベビーブームの余韻を引きずっていたのか、醇風小学校は一クラス55人で一学年4クラス200人オーバー。全校生徒1200人でした。今は200人余りとなっており、時代を感じています。

そして今、古希を迎える年齢になり、気がつけば65歳で亡くなった父の年齢を過ぎていました。あとどれくらいの間育ててもらった社会にお返しができるか、何が出来るかと自問自答しながら、出来ることからやっといこうと思っています。



古希を迎えて

Ｌ 松下 稔彦



古希にあたりこのたびクラブよりお祝いを頂戴しました。誠にありがとうございます。

「人生七十古来稀なり」(杜甫の詩より)に由来しているといいますが、現代において69歳はまだまだ現役、鼻垂れだそうです。

私自身、心も身体もまだ元気、頭の回転の悪いのは生まれつきです。

今後も皆様の邪魔をしないよう、クラブ運営や奉仕活動に励んでいきたいと思っています。

引き続きご指導よろしく願います。



336-B地区 第68回地区年次大会に参加して

幹事 L 国森 洋



- ◇2022年4月17日(日) 9:00～12:15
- ◇於 津山文化センター
- ◇当日の参加者：L宮部、L国森、代議員2名
L小池、L橋本、L福田、
一般参加3名

4月17日(日)津山市文化センターに於いて、標記大会が2年ぶりに開催され、宮部会長、福田さん、橋本さん、小池さんと初めて参加しました。

会議では、鳥取ライオンズクラブ所属の西尾慎一氏が23年ぶりに鳥取から地区ガバナーに選出され、ガバナーズローガン「調和と融和 明るく・楽しく・

元気よく」が力強く発表され、併せて2023年4月には鳥取で第69回地区年次大会が開催されることも承認されました。

また、議案とされた2021年収支報告について会場から異議が唱えられ、しっかりした答弁が聞けず、第3者委員会を立ち上げ再度監査することでなんとか会場は収まりましたが、少々お粗末な結果となったことは残念に感じました。

コロナ禍で久しぶりに県外に出ましたが、この日は天気もよく桜は散り賭けでしたが、鶴山公園の一角では爽やかな風が心地よく、温かい日差しの中でいただいたちらし寿司弁当は最高に美味しかったです。

336-B地区 第68回地区年次大会に参加して

会長 L 宮部 文雄



- ◇2022年5月22日(日) 9:00～12:45
- ◇於 広島国際会議場
- ◇当日の参加者：L宮部 代議員1名

例会でもお話ししましたが、初めて複合地区の年次大会に参加をして参りました。4月に津山で開催されたB地区の年次大会と異なり、参加者も多く中四国9県の組織規模の大きさをあらためて感じた次第です。

年次報告の中で、注目すべきアワード表彰がありました。会員増強部門(21.7～22.3)で、16名純増のクラブが2クラブ(最優秀)、9名純増のクラブが2クラブ(優秀)そして8名純増のクラブが2クラブ(5位)等々とたくさんの純増クラブが存在することでした。8名純増のクラブには同じ

B地区の米子LCの名前がありました。コロナ禍にありながら9か月間にこれだけの会員獲得をされたことに敬意と驚きを感じました。当クラブにおいては想像を超えた次元でしょう。

広島が会場でしたので、前泊となりましたが、6年ぶりの広島を楽しみました。平和公園は、モニュメントや各施設に修学旅行生が押し寄せ、賑わいを見せていました。私は、平和記念資料館に入館し、じっくりと時間をかけて館内を回りました。音声ガイドの吉永小百合さんの「声色」が今でも耳に残っているように感じます。(夢千代さ～ん)

来年の年次大会は、福山市で開催されます。当クラブからたくさんのご参加を頂いて、複合地区の雰囲気を感じ取って下さい。

7R-1Z・6LC合同アクティビティ 「街頭献血」

今年度もコロナ感染症対策の為、街頭での声掛けはできませんでしたが、献血にご協力頂いた方へクラブより謝礼として記念品を贈呈いたしました。



於 イオン鳥取北店

- ◇2022年3月13日(日) 10:30～12:00 / 13:30～16:00
受付総数46名、そのうち献血できた方39名(400cc×39名=15,600cc)
- ◇2022年3月21日(月・祝) 10:30～12:00 / 13:30～16:00
受付総数46名、そのうち献血できた方41名(400cc×41名=16,400cc)



7R-1Z・6LC合同アクティビティ 「EM活性液活用事業 ～プール掃除を終えて～」

GST委員長 L 秋山 光行



- ◇2022年6月1日(水) 13:15～14:50
- ◇於 鳥取市立日進小学校
- ◇日進小学校5・6年生児童参加、当クラブよりL秋山・事務局参加



EM活性化液プール掃除に参加しました。
6月1日、日進小学校で実施されたプール掃除に参加しました。EM活性化液の効果の確認が目的でしたが、想像以上にきれい、プール底面に少し残った藻のようなものを、洗い流すだけの作業となり、担当の先生から感謝の言葉をいただきました。



7R-1Z 6LC 親善チャリティゴルフ大会

- ◇2022年6月5日(日)
- ◇於 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部
- ◇クラブよりL荒川、L国森、L戸田、L橋本以上4名参加



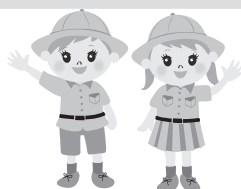
団体成績

[優勝]鳥取いなばLC [準優勝]鳥取中央LC
[第3位]鳥取砂丘LC [第4位]鳥取久松LC
[第5位]鳥取LC

個人成績 [第3位] L 国森 [入賞] L 戸田

日本ボーイスカウト鳥取連盟へ 令和3年度活動支援金贈呈

- ◇2022年6月9日(木)
- ◇於 白兔会館(例会場)



あ と が き

今年度のMC委員会は、会報の発行と新たに6LC合同誌の発行、さらにホームページの立ち上げと、多忙な1年でした。皆様のご協力により、ホームページの立ち上げ、会報も順調に発行することができました。コロナ禍で、複数の例会の開催の中止や、懇親を深める夜間例会の開催もなく、ニュースソースの乏しい中での広報の編集は苦労しましたが、何とか一年を全うできました。津川副委員長さん、橋本事務局員さんありがとうございました。

(MC委員会委員長 L 上杉 榮一)

- 発行 鳥取久松ライオンズクラブ
- 事務局 鳥取市川端2丁目125 鳥取県不動産会館3F
☎(0857)23-6830 Fax(0857)23-4908
- E-mail kyusholc@hal.ne.jp
- 会長 宮部 文雄
- 幹事 国森 洋
- MC委員会委員長 上杉 榮一
- 例会日 第2・第4木曜日 12:20～13:20
- 例会場 白兔会館
鳥取市末広温泉町556 ☎(0857)23-1201